

# 令和2年第3回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和2年9月4日（金）

議員団会議終了後～

保土ヶ谷区役所4階 401会議室

## 次 第

### 議 題

- 1 令和元年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について
  
- 2 令和2年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について
  - 2-1 新型コロナウイルス感染症に係る事業見直しと活用状況について
  - 2-2 災害対策推進事業について
  - 2-3 地域活動におけるICT活用支援について
  - 2-4 ほどがや元気づくり事業について
  
- 3 その他

# 令和元年度保土ヶ谷区

## 個性ある区づくり推進費等

### 執行実績

令和2年9月4日

保土ヶ谷区

## 《目次》

1	令和元年度個性ある区づくり推進費執行総括表	2
2	令和元年度個性ある区づくり推進費執行内訳	2
	(1) 施策分野別自主企画事業費執行実績	2
	(2) 事業別自主企画事業費執行実績	3
	(3) 一般管理費執行実績	13
《参考1》	区局連携促進事業執行実績	14
《参考2》	元気な地域づくり推進事業執行実績	15

# 1 令和元年度個性ある区づくり推進費執行総括表

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	差引の主な理由
自主企画事業費 (40事業)	105,212,000	102,039,524	3,172,476	○新型コロナウイルス感染症の影響による自治会町内会長感謝会中止に伴う委託費の減(1,120,068) ○区民企画型講座補助金の実績による減(1,105,801) ○新型コロナウイルス感染症の影響による放課後キッズクラブ事業減少に伴う補助金の減(804,190)
一般管理費	575,681,000	575,907,816	△ 226,816	○区庁舎等管理費における、設備保守点検委託費の落札金額の増等(△2,493,630)
<b>合計</b>	<b>680,893,000</b>	<b>677,947,340</b>	<b>2,945,660</b>	

# 2 令和元年度個性ある区づくり推進費執行内訳

## (1) 施策分野別自主企画事業費執行実績

(単位：円)

施策分野	予算額	決算額	差引	主な事業・主な取組
1 暮らしの安全・安心の確保	30,344,000	33,191,481	△ 2,847,481	【災害対策推進事業】 (3ページ) ○減災運動推進大会等の開催による、地域における自助・共助の推進 【交通安全対策事業】 (4ページ) ○通学路上の退避スペース整備による児童の安全確保や、交通安全運動・交通安全教育による交通事故の防止
2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	20,761,000	17,669,626	3,091,374	【ほ도가やhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～】 (5ページ) ○地域赤ちゃん教室や合同育児講座等の開催による、妊娠期から学齢期前までの子育てサポートを実施 【ほ도가や元気づくり事業】 (6ページ) ○「働き・子育て世代」(30～50代)を中心とした区民に対し、健康に関する情報提供や体験型講座の開催
3 つながり・支えあいの推進	21,107,000	16,897,510	4,209,490	【横浜国立大学留学生の地域交流推進事業】 (7ページ) ○ほ도가や花フェスタ等への参加による、地域と留学生との交流促進 【保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業】 (9ページ) ○各地区の取組支援や、ほっとなまちづくり推進会議における取組の情報共有等による、第4期保土ヶ谷区地域福祉保健計画の策定推進
4 魅力あるまちづくり	19,923,000	18,986,401	936,599	【歴史浪漫ほ도가や事業】 (9ページ) ○案内サイン等の維持管理 ○まちの魅力発信拠点の整備・運営 【星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業】 (10ページ) ○相模鉄道本線連続立体交差事業に伴う、星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインの検討
<信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～>	13,077,000	15,294,506	△ 2,217,506	【「利用しやすい区役所」推進事業】 (11ページ) ○区役所本館3階レイアウト変更
<b>合計</b>	<b>105,212,000</b>	<b>102,039,524</b>	<b>3,172,476</b>	

## (2) 事業別自主企画事業費執行実績

### 1 暮らしの安全・安心の確保

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進しました。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全、様々な困難を抱える家庭の社会的自立に向けた支援などに取り組みました。

【予算額 30,344,000 円】

【決算額 33,191,481 円】

#### 1 エコ活動推進事業【(予) 2,671,000 (決) 1,956,111】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を 2020 年度までに 22%、2030 年度までに 30%、2050 年度までに 80%以上削減 (2013 年度比)」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行いました。

- (1) ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク：メンバーへの情報提供 (通年)
- (2) 「ほどがや花フェスタ 2019」への出展 (電気自動車チョイモビの展示、温暖化に関するクイズ及びカーボンオフセットに関するアンケートの実施等) (5月)
- (3) 小学生向け環境講座の開催 (8月)
- (4) 「ほどがやエコスポフェスタ 2019」の開催 (12月))
- (5) 環境に配慮した施設見学会の実施 (1月)

#### 2 災害対策推進事業 (20 万区民の自助・共助による減災運動)

【(予) 12,390,000 (決) 10,422,959】

「20 万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、地域防災力の向上を図りました。また、災害時の迅速な緊急情報の提供や区本部体制を充実し、危機管理体制の向上を図りました。

- (1) 保土ヶ谷区感震ブレーカー等設置推進事業 (4月～) (設置件数：18 団体 473 個)
- (2) 保土ヶ谷区防災・地域福祉保健アンケート (5月～6月)
- (3) 重点月間を定めた広報啓発キャンペーン (6月、9月)
  - ・ 駅頭 (保土ヶ谷駅、天王町駅) における風水害対策の呼びかけの実施等 (6月)
  - ・ 地区センターやコミュニティハウスでの地震・風水害の啓発パネル展示等 (6・9月)
- (4) 減災運動推進大会 (9月)
  - ・ 女性の視点を踏まえた防災対策をテーマとする講演会、地域の方による取組事例発表を実施
- (5) 次世代の防災の担い手育成事業 (5月～)
  - ・ 小学校への防災ガイド配布や防災出前講座の実施 (小学校：1 校 70 人、中学校：2 校 440 名)
- (6) 保土ヶ谷区防災講習会講師派遣事業 (通年) (参加者：7 団体 182 人)
- (7) 地域防災拠点支援事業 (通年)
  - ・ H28 熊本地震避難所運営者を講師とした拠点管理運営委員向け研修会の実施等 (1月：65 人)

#### 【差引の主な理由】

感震ブレーカー等設置補助の申請の減。

**3 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業【(予) 5,546,000 (決) 7,325,965】**

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進しました。(通年)

**【差引の主な理由】**

倒壊の危険性がある「ほどがや防犯センター」のブロック塀を、安全確保のため整備をしたことによる増。

**4 交通安全対策事業【(予) 7,524,000 (決) 10,735,657】**

交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進しました。駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発しました。

また、坂本小学校通学路上の横断歩道前に、退避スペースを整備しました。(通年)

**【差引の主な理由】**

坂本小学校通学路における退避スペース設置にあたり、地中埋設物に影響を与えないよう工法変更したことによる増。

**5 暮らしの衛生サポート事業【(予) 1,066,000 (決) 1,604,289】**

食の安全や動物の適正飼育など、生活衛生に関する正しい知識の普及に努め、区民の安全で快適な生活を支援しました。

(1) 地域行事における食中毒予防リーフレットの修正・増刷(1,000部)(9月～2月)

(2) 地域のボランティア活動で食品提供する方を対象とした手洗い講習会の実施(6～8月)  
(5回、157人)

(3) 食中毒予防やHACCPに関する広報・講習会の実施(通年)(33回、1,703人)

(4) 地域防災拠点における「健康・衛生管理掲示物」の見直し・活用シートの配布(6～11月)  
(27拠点中22拠点の防災訓練で活用)

(5) 災害時ペット対策グッズの作成・配布(クリアファイル7,000枚、迷子札830個)(5月～)

**6 生活保護受給者に対する家計相談支援事業【(予) 1,147,000 (決) 1,146,500】**

保護世帯の社会的自立と保護脱却世帯が再び保護世帯に戻らないことを目指して、生活保護受給者を対象とした家計相談支援事業を実施し、保護世帯が扶助費を適切に管理できるよう支援しました。(通年)

**2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり**

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みました。また、スポーツを通じた健康づくりを推進しました。

**【予算額 20,761,000 円】**

**【決算額 17,669,626 円】**

**7 スポーツの街ほどがや推進事業【(予) 2,951,000 (決) 2,926,604】**

誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図りました。(通年)

**8 みんなで育む がやっこ事業【(予) 1,085,000 (決) 907,686】**

“がやっこ(元気な保土ヶ谷の子どもたち)”の健全育成を図るため、横浜国立大学と連携し、体験型講座や学生派遣による学習支援等を行いました。(通年)

**9 青少年健全育成事業【(予) 306,000 (決) 306,000】**

青少年健全育成の推進に資することを目的に、健全育成の普及活動等に要する経費を補助し、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図りました。(通年)

**10 がやっこキッズ学び育み事業【(予) 2,329,000 (決) 1,524,810】**

学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行いました。

(1) 30年度からの継続(6校)で事業の実施(通年)

(2) 新規3校(藤塚小、仏向小、初音が丘小)での事業開始(1月以降順次開始)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、3月以降各校での実施を中止しました。

**11 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～**

**【(予) 5,304,000 (決) 4,441,558】**

地域で孤立しない、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期前まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施しました。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めました。

(1) 保育所による妊娠期及び未就学児親子の支援(通年)

(2) 地域赤ちゃん教室の開催(通年)(14会場:139回)※3月はコロナの影響により休止

(3) 乳幼児健診来庁者への情報提供(69回)※3/4、5、12はコロナの影響により休止

(4) 合同育児講座の開催(「ほがらか広場」7/4開催、「ほがらか育児講座」9～12月5回開催)

(5) 子育てお役立ち情報の充実(通年)

(6) 保育所入所案内の作成(9月 6,000部)

(7) 子育て支援マップの作成(7月 5,500部)

(8) ほめ方しかり方講師養成講座の開催(6月2回)、講座の開催(1コース5回×3法人)

(9) 地域子育て支援連絡会の開催(6、2月)、エリア別会議(通年7か所)

(10) 保育園応援隊の実施(通年)

(11) ほどがやこどもニコニコフェスタの開催(11/9開催、参加者701人)

**12 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【(予) 2,103,000 (決) 1,758,632】**

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めました。また、孤立しやすい若年やひとり親の養育者を対象として、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につながりました。

- (1) 児童虐待防止啓発事業の実施（11月 児童虐待防止月間での各窓口啓発物品の配布等）
- (2) 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催（通年）
- (3) 女性の離婚等のための相談事業（ライフサポートカウンセリング 通年）
- (4) 子どもの発達支援講座開催（7/24、1/22 開催）

**13 保土ヶ谷 8020 歯っぴい事業【(予) 1,183,000 (決) 981,134】**

口腔の健康状態は全身に大きく影響することを踏まえ、歯の生え始めからのむし歯予防と20～30歳代の保護者の歯周病予防を重点に、「8020運動は若いうちから」を意識し、実技指導等を取り入れた啓発を行いました。（通年）

**14 ほどがや元気づくり事業【(予) 4,168,000 (決) 3,745,482】**

30～50歳代を中心とした「働き・子育て世代」の区民を主な対象に、健康に関する情報や、きっかけとなる場を提供することで、自分自身の健康を維持・増進する機運を高めました。

- (1) 健康コンテンツの充実と情報提供：随時
- (2) 体験型の健康講座：歯っぴい！おやつクッキング（6・12月）  
更年期に備えた健康づくりのポイント紹介（10月）  
その他、国大や横浜FCとの協働により既存イベントでも啓発

**15 輝けシニア！2025事業【(予) 643,000 (決) 643,000】**

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活が送れるよう、状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援しました。また、認知症等により介護が必要な方やその家族を支援するとともに、地域の支え合いの仕組みづくりや介護、医療の関係機関との連携を進めました。

- (1) きらり☆シニア塾の認定・継続支援及び介護予防・健康増進の普及啓発（通年）
- (2) 高齢者が、地域の中で孤立せず、生きがいに満ちた人生を送るために、仲間づくりと生きがいづくりを促進する事業を老人クラブと共催開催  
・ことぶき大学講座（7月 334人参加）、高齢者作品展（11月 101点、約720人参加）、  
囲碁・将棋大会（1月 58人参加）
- (3) 認知症サポーター養成講座など、認知症の理解、対応等の普及啓発等（通年）
- (4) 区行動指針を活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発（通年）

**16 学齢障害児フレンドサポート事業【(予) 689,000 (決) 434,720】**

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援しました。

- (1) 放課後事業の実施（ダンス 33名、音楽 56名参加）
- (2) 長期休み期間事業の実施（8/4 参加者等 84名）※3月はコロナの影響により休止
- (3) 休日事業の実施 ※2月実施予定のところコロナの影響により休止



### 3 つながり・支えあいの推進

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援しました。また、地域での見守り活動の推進や、高齢者や障害のある方への支援、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組みました。

【予算額 21,107,000 円】

【決算額 16,897,510 円】

#### 17 広聴の区民協働事業【(予) 599,000 (決) 583,013】

「地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動を行うほか、区民会議活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」を発行しました。様々な広報手段を総合的に運用することにより、より多くの区民に区の魅力や事業等を周知し区政への関心・理解を深めました。

- (1) 「地域のつどい」への参加（6会場/6月）、「区民のつどい」への参加（2月）
- (2) 分科会の活動（通年）
- (3) ニュース「やまびこ」の発行（1期2年間に3回発行）

#### 18 《新規》横浜国立大学留学生の地域交流推進事業【(予) 571,000 (決) 222,247】

地域と留学生との交流を通じて、地域活動の担い手の確保や地域の活性化を図りました。また、留学生が日本の文化に触れる機会や、自国の文化を発信する機会を増やすことで、地域との交流を促進しました。

- (1) 「ほどがや花フェスタ 2019」への出展（アフリカ諸国出身の留学生による国際交流）（5月）
- (2) 常盤台地区「納涼盆踊り」への参加（地域との交流、日本文化の理解促進）（7、8月）
- (3) 新桜ヶ丘地区「昔あそびのつどい」への参加（地域との交流、日本文化の理解促進）（11月）
- (4) ほどがや国際交流ラウンジ「ほどがや国際フェスタ 2019」への出展（横浜市姉妹都市出身の留学生等による国際交流）（11月）
- (5) 「ほどがや歴史まち歩き 2020」への参加（地域との交流、日本文化の理解促進）（2月）

#### 19 ほどがや区民まつり【(予) 4,800,000 (決) 4,329,799】

区民や区内各種団体の交流促進及び地域コミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、「区民まつり」を開催する予定でしたが、雨天のため中止しました。

- ・開催日：令和元年10月19日（土）
- ・開催場所：県立保土ヶ谷公園

#### 20 自治会町内会育成事業【(予) 3,391,000 (決) 2,270,932】

地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支え、市政・区政推進の基盤となることを目的に、自治会町内会長感謝の表彰状、記念品を配布しました（感謝会はコロナウイルスのため中止）。自治会町内会あての回覧・掲示物を集約し、配布しました。

**【差引の主な理由】**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自治会町内会長感謝会を中止としたことによる、委託料の減。

**21 ほどがや☆元気村【(予) 611,000 (決) 561,880】**

団塊の世代や次代を担う若い世代が地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけとして、保土ケ谷区に残る唯一の水田を活用し、区民の交流の場（元気村）を作りました。

**【スケジュール】**

4月 開村式（牛乳パックで稲の種植え）	5月 田おこし
6月 代かき、田植え	7月 ジャガイモ収穫、草とり
8月 かかし作り	9月以降 大根の種まき、稲刈、収穫祭など

**22 市民活動支援事業【(予) 4,616,000 (決) 4,214,698】**

市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域に密着したきめ細やかな支援を行いました。(通年)

**23 はぐくみプロジェクト【(予) 2,139,000 (決) 1,033,199】**

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施しました。(通年)

**【差引の主な理由】**

区民向け育成講座の補助申請数及び保育サービス利用者数の減による、運営補助金及び委託料の減。

**24 障害者地域支えあい連携推進事業【(予) 1,017,000 (決) 781,010】**

障害者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、保土ケ谷区地域自立支援協議会を中心に障害者地域活動ホーム、福祉事業所、地域ケアプラザ等関係機関相互の連携強化を図ったほか、人材育成、障害者の社会参加の機会拡大及び地域の理解向上等の普及啓発活動を行いました。

- (1) 自立支援協議会の開催（全体会：1回、専門部会：89回）(通年)
- (2) 人材育成等に関する研修の開催（7月、2月）
- (3) 福祉事務所の自主製品販売促進により、障害者の社会参加を目指しました。
  - ・ 区役所での販売：夏季及び年末年始を除き、原則として開庁日の毎日
  - ・ JR保土ケ谷駅での出張販売（10月）
  - ・ 区役所の販売ブース改修（3月）

**25 保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業【(予) 2,089,000 (決) 1,824,336】**

第3期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：平成28年から令和2年まで）を推進しました。また、アンケート調査・分析を行い、第4期計画の策定に資する情報を整理しました。それぞれの地域が、様々に抱える課題に対し主体的に取組を進められるよう、また、各地区において第4期計画の策定に向けた検討が進むよう、地区支援チームが支援しました。

- (1) ほっとなまちづくり推進会議（6月、10～11月、2月）
- (2) 地区別計画の支援（通年）
- (3) リーダー会議（4月、2月）
- (4) 区民アンケート調査（5～6月）を行い、第4期骨子を策定（3月）

**26 地域見守り推進事業【(予) 1,274,000 (決) 1,076,396】**

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）と、区役所や地域包括支援センター等が、連携しながら継続的に見守りました。また、あんしん訪問員とともに、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、民生委員・児童委員の物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行いました。

- (1) 各地区推進委員会へあんしん訪問事業補助金を交付（6月）
- (2) 民生委員・児童委員協力員の委嘱開始（毎月1日付で委嘱）

## 4 魅力あるまちづくり

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上等、持続可能なまちづくりを推進するとともに、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着を育みました。

**【予算額 19,923,000円】**

**【決算額 18,986,401円】**

**27 歴史浪漫 ほどがや事業【(予) 2,719,000 (決) 2,540,605】**

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を活かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めました。

- (1) 旧東海道PR（子ども向け講座（7月）、スタンプラリー（10月）、まちあるきイベント（2月））
- (2) 歩きやすい街道づくり（連続的な案内の検討及び案内サイン等の維持管理）（通年）

**28 《新規》星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業**

【(予) 5,000,000 (決) 5,095,000】

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅間）連続立体交差事業による高架化を契機に、駅周辺の開発の機運が高まっています。地区の魅力を高め区心部の拠点性をさらに強化するため、星川駅周辺地区のまちづくりガイドラインを検討しました。

- (1) 星川駅周辺の都市計画状況についての現況調査や土地利用の方針別整理（通年）
- (2) 地域の代表者や学識経験者等から構成される懇談会の開催（10月、2月）
- (3) ガイドライン素案の検討（～3月）

※あわせて、踏切解消や駅前広場・周辺道路の整備を踏まえたバス路線の検討（通年）

[区局連携促進事業費 (予) 3,000,000 (決) 2,106,513]

**29 保土ヶ谷商工業支援事業【(予) 668,000 (決) 971,398】**

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援しました。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行いました。（通年）

**30 地産地消推進事業【(予) 450,000 (決) 384,686】**

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めました。

- (1) ほどがや朝市の開催（毎月）
- (2) 地産地消のPR（花フェスタへの出展 5月）

**31 国際文化理解事業【(予) 1,300,000 (決) 729,706】**

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現に寄与することができました。（通年）

**32 花薫るきれいな街ほどがや事業【(予) 4,492,000 (決) 4,420,163】**

次世代につなげる魅力あるほどがやのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みました。（通年）

**33 読書活動推進事業【(予) 650,000 (決) 608,548】**

区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発やボランティア養成講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進しました。

**【主なスケジュール】**

- ・絵本、紙芝居教室（8月、10月、11月）
- ・音読教室（9～10月）
- ・図書修理ボランティア（11月、12月）
- ・読み聞かせサポーター入門講座（1～2月）
- ・保土ヶ谷区読書活動推進講演会（1月）

<p><b>34 保土ヶ谷区芸術の街【(予) 3,047,000 (決) 2,412,346】</b></p> <p>保土ヶ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施しました。(通年)</p>
<p><b>35 保土ヶ谷区ガイドマップ作成事業【(予) 1,597,000 (決) 1,823,949】</b></p> <p>保土ヶ谷区に転入する区民へ生活に必要な情報を提供しました。※隔年で作成</p> <p>(1)発行時期：令和2年3月</p> <p>(2)発行部数：23,000部</p> <p>(3)掲載内容：地図情報、バス路線図、防災情報、主な公共機関の連絡先等</p>
<p><b>&lt;信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～&gt;</b></p> <p>来庁者の用件等を丁寧に傾聴し、信頼され、親しまれるサービスを提供しました。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践しました。また、庁舎等の環境整備に取り組みました。</p> <p style="text-align: right;"><b>【予算額 13,077,000円】</b></p> <p style="text-align: right;"><b>【決算額 15,294,506円】</b></p>
<p><b>36 区総合調整事業【(予) 2,000,000 (決) 636,023】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症に対応のため、消毒液、体温計、マスク、作業着等の物品を購入しました。(通年)</p> <hr/> <p><b>【差引の主な理由】</b></p> <p>緊急対応課題の減。</p>
<p><b>37 「利用しやすい区役所」推進事業【(予) 9,603,000 (決) 13,328,421】</b></p> <p>区民が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上しました。(通年)</p> <hr/> <p><b>【差引の主な理由】</b></p> <p>区役所本館3階のレイアウト変更において、今後見込まれる子育て支援関連の業務・人員増に対応するため、当初予定から仕様を変更したことによる、委託費の増。</p>

**38 窓口サービス向上事業【(予) 724,000 (決) 766,847】**

区民の皆さまから信頼される区役所に向けて、職員一人ひとりが傾聴の姿勢を持ち、丁寧に迅速なサービスの提供を行うことができるよう、応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、改革推進の取組等により業務改善を進めました。(窓口サービス満足度調査 97.7% ※「満足」+「やや満足」と回答した方の比率)

- (1) 職員向け業務研修の実施：「応対マナー研修」(8月：計3回、61人)、「クレーム対応研修」(12月：12人、1月：17人)、「CSリーダー研修」(11月：9人、12月：13人)、「ナレッジマネジメント研修」(1月：12人)
- (2) 職員向け人権啓発研修の実施(6月～12月)
- (3) 市民向け人権啓発講演会の開催(2月)(講師：金澤泰子氏、金澤翔子氏「ダウン症の娘と共に生きて」市民参加260人)
- (4) 各課改善隊(職場環境整備等)、CS部会(窓口案内表示の見直し等)、ES部会(業務紹介等)による業務改善

**39 統計便覧作成事業【(予) 277,000 (決) 275,935】**

「統計で知るほどがやへそ」を発行し、保土ヶ谷区に関する統計データから区の現状や推移を区民に広く紹介しました。(3月 800部発行、HP掲載)

**40 保土ヶ谷区GIS活用推進事業【(予) 473,000 (決) 287,280】**

各種統計情報や業務データ等を地理空間情報として整備し、GIS(地理情報システム)で扱うことで、客観的な情報分析や分かりやすい資料作成を可能にし、政策立案力や庁内情報共有環境の向上を目指しました。GISの活用推進にあたり、課職員のスキル向上を行いました。

- (1) GIS環境の整備(通年)
- (2) 政策立案力の向上に向けたGIS活用のための人材育成(通年)

## (3) 一般管理費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差引	差引の主な理由
統合事務費	24,908,000	25,572,541	△664,541	郵送物の増による通信運搬費の増等
統合事業費	17,483,000	16,914,762	568,238	
広報よこはま発行事業	7,794,000	7,434,048	359,952	入札残による委託費の減等
広聴の相談事業	710,000	713,893	△3,893	実績に伴う増等
クリーンタウンほ도가や事業	668,000	577,900	90,100	実績に伴う減等
消費生活対策事業	101,000	95,240	5,760	消耗品費精査に伴う減等
スポーツ推進委員事業	3,540,000	3,539,960	40	実績に伴う減等
青少年指導員事業	3,710,000	3,593,721	116,279	消耗品費精査に伴う減等
学校・家庭・地域連携事業	960,000	960,000	0	
区庁舎・区民利用施設管理費	533,290,000	533,420,513	△130,513	
区庁舎	97,717,000	100,210,630	△2,493,630	設備等保守点検委託における落札金額の増等
ほ도가や市民活動センター	25,817,000	25,817,000	0	
土木事務所	8,901,000	8,885,654	15,346	使用料及び賃借料の契約残等
公会堂	56,061,000	56,061,000	0	
地区センター等	335,873,000	335,781,120	91,880	区民利用施設運営委託における実績による減
広場・遊び場	2,388,000	1,784,321	603,679	実績に伴う減等
区庁舎・区民利用施設修繕費	6,533,000	4,880,788	1,652,212	実績に伴う減等
合 計	575,681,000	575,907,816	△226,816	

## 《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業	3,000,000	2,106,513	893,487	<p>連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機に、バス交通に関する地域意見を広く聴取するとともに、バス事業者と調整し候補路線を選定した上で、周辺交通の現況把握やアンケート等、地域の交通需要についての調査を実施しました。</p> <p>(事業所管局：道路局)</p> <p>(1) 地域交通に関する星川駅周辺の現況把握とアンケート調査実施範囲の検討(9月)</p> <p>(2) アンケート調査の実施(11月～12月)</p> <p>(3) アンケート結果の集計・分析(3月)</p>
緊急時情報システム運用試行事業	290,000	209,280	80,720	<p>災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長(自治会町内会長)に対して発信し、あわせて、双方向機能を活用したシステムを試行実施し、実務上の課題と事業効果を検証しました。(通年)</p> <p>(事業所管局：総務局)</p>
合計	3,290,000	2,315,793	974,207	



## 《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
“輝け、地域力！”事業	1,836,000	1,115,735	720,265	自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携し、自らが地域の課題を解決するための取組に対し、補助金を交付しました。また、地域組織づくりへの支援として、地域活動団体の取組等を掲載した広報誌を作成しました。（通年）
地域・まちづくり活動支援事業	1,432,000	884,866	547,134	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ市民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の推進を図るため、事業費を補助しました。（通年）
保土ケ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	1,072,000	537,889	534,111	保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地区別計画の推進や課題の解決を支援することにより、区民主体の地区運営を進めました。 (1) 地区懇談会等への外部アドバイザー派遣による地区別計画推進支援（通年） (2) 地区支援チーム（区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ）による地区支援（通年） (3) ほっとなまちづくりフォーラム開催（12月） (4) 地区別データ集発行（11月）
地域づくりプロジェクト 「ほ도가や <sup>がっこう</sup> 楽考」	1,200,000	1,100,000	100,000	協働による地域づくりを目指し、次代の地域活動を担う区民と区職員と一緒に、身近な地域課題の解決方法などを学ぶ場として、「ほ도가や <sup>がっこう</sup> 楽考」を開講しました。 (1) ほ도가や楽考の実施（6～11月）
合 計	5,540,000	3,638,490	1,901,510	

## 令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）現年度見直しについて

現年度事業見直し実施方針に基づき、全事業を対象に事業点検を実施しました。

見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等を実施します。

(千円)

自主企画事業費総額	100,982
見直し金額	▲ 16,433
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	16,427

### 主な見直し内容

▲ 16,433

#### 新型コロナによるイベントや講演会等の中止

▲ 16,433

- ・区民まつりの中止
- ・健康関連イベントの中止
- ・スポーツ関連イベントの中止

### 新型コロナウイルス感染症対策等への活用

16,427

#### 1. 消毒液、非接触温度計等の購入や感染対策経費

7,735

- ・地域防災拠点等避難所における感染症対策物品の配備
- ・区庁舎内における感染症予防対策、事業実施にかかる感染症防止対策物品の購入

#### 2. コロナ禍における事業展開に係る費用

※ 1、3を除く

5,000

- ・イベントや講演会等の代替実施
- ・コロナ禍における商店街活性化事業の実施

#### 3. 新しい生活様式を踏まえた環境整備

3,536

- ・関係機関とのリモート会議等のために必要な機材の購入等
- ・自治会町内会、区民団体等へのICT活用支援

#### 4. 新型コロナウイルス感染症対策関連情報の広報に係る費

156

- ・タウン誌への紙面掲載費用等

※ 金額については現時点での見込み額です。

## 令和2年度災害対策推進事業の取組状況について

安全・安心に暮らすことができる区づくりのため、関係機関や地域と連携して「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、家庭と地域における防災力の向上や、避難所における感染症対策の推進など、安全の確保につなげます。

### 1 これまでの主な取組

減災運動推進強化月間を中心とした広報活動を実施するとともに、民間事業者や関係機関との連携により「自助」「共助」の重要性について周知を図りました。

また、昨年の台風19号の経験や新型コロナウイルス感染症を踏まえ、避難所体制の強化に取り組みました。

#### (1) 減災運動推進強化月間（6・9月）における広報・啓発

ア 公用車への減災マグネットの貼付と区内小中学校等における減災のぼり旗の掲出（6月・9月）

イ 広報よこはま区版での特集記事の掲載（6月：風水害、9月：避難行動）

ウ 「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難勧告」を発令する区域（即時勧告対象区域：165世帯）へのポスティング（6月）

#### (2) 鉄道事業者や商業施設等との連携による広報・啓発【拡充】

JR保土ヶ谷駅、相鉄線天王町駅、商業施設（ホームセンター1店、スーパーマーケット3店）、地区センターにおける、防災マップおよび風水害対策リーフレットの配架（6月～継続中）。



スーパーでの防災マップ配架  
イオン横浜和田町店

#### (3) 新たな手段による広報・啓発【新規】

ア タウンニュース社の特集記事による台風への備えの呼びかけ（区版7/23号）

イ 地域ケアプラザでの防災マップ配架やケアプラザ職員が高齢者宅訪問時の防災マップの配布（8月）

ウ ごみ収集車を活用した地震・風水害時における避難所の違いや備蓄等の呼び掛け（9月）



タウンニュース保土ヶ谷区版  
7月23日号

#### (4) 避難所における感染症対策への対応【拡充】

- ア 地域防災拠点(27 拠点)へ「感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」を配布(6月)
- イ 感染症対策物品の整備(7月)  
個人用テント、非接触型体温計、消毒用品、衛生用品等
- ウ 収容スペース・専用スペースの確保
  - ・風水害時に向けた対応  
昨年の台風19号の経験も踏まえ、警戒規模に応じた避難所を開設できるよう増設に向けた施設との調整(7月)
  - ・震災時に向けた対応  
小中学校及び県立高校と収容スペースや体調不良者等の専用スペースの確保に向けた調整(8月)
- エ 区役所職員を対象とした感染症を踏まえた避難所運営訓練の実施(8月)

## 2 今後の主な予定

### (1) 地域防災拠点運営委員向け研修

本年度は住民参加型の拠点運営訓練が実施できないため、感染症対策を踏まえた避難所運営研修の実施(10月)



感染症対策を踏まえた  
避難所運営研修(イメージ)

### (2) 減災運動推進大会

区民の皆様にも自助・共助の必要性を認識していただき、減災行動の実践に繋がるよう、防災講演会や自治会町内会の先進的取組事例の紹介(1月)

### (3) 震災対策区本部運営訓練

大地震発生を想定した、区本部運営シミュレーションの実施(1月)

### (4) 小中学校向け防災講習会

次世代の防災の担い手育成に向け、学校と連携した講習会の実施(通年)



小学校向け防災講習会  
(昨年度の仏向小学校)



《参考》 避難所用感染症対策物品

地域防災拠点倉庫 保管物品

調達	物品名	1拠点あたりの数量	写真
局	収納用折りたたみコンテナ	1個	 
	非接触型体温計	1本	
	サージカルマスク	500枚	
	フェイスシールド	30枚	
	アルコール消毒液 (500ml)	40本	
	消毒液	10本	
	雑巾	10枚	
	使い捨て手袋	1,000枚	
	段ボール間仕切りベッド ※	6式	

※ 方面別備蓄庫（資源循環局保土ヶ谷工場）に保管

保土ヶ谷区役所 保管物品

調達	物品名	数量	写真
区	収納用バッグ	50個	 
	非接触型体温計	50本	
	フェイスシールド	200枚	
	消毒液	50本	
	個人用テント	100式	
	使い捨て手袋	50箱	
	ハンドソープ	100本	
	ペーパータオル (200枚入)	252個	
	消毒用ボトル	50本	
局	サージカルマスク	4,300枚	
	アルコール消毒液 (500ml)	96本	
	エアマット	200枚	

## 地域活動における ICT 活用支援について

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや集まったの会議、対面での見守り、地域防災拠点訓練など、地域や各団体においてこれまでどおりの活動が困難な状況となっています。

このような状況下で、新しい生活様式を踏まえた地域における活動や交流が継続できるよう ICT の活用について地域への支援を行います。

### 1 支援内容

- (1) 区内のボランティア団体(※)と協働し、地域における ICT 人材の育成に関する次の取組をモデル実施
  - ア パソコン等 ICT 機器の使い方や Web 会議の実施方法についての研修会や相談会の開催
  - イ ICT の活用を支援するアドバイザーを地域に派遣

\* ア、イを通じて、広く ICT の活用に慣れ親しんでもらうとともに、ICT 活用に関して核になる人材を発掘・育成し、地域への定着を目指します。

※パソコンよこはま宿

- ・区主催の IT 講習ボランティア養成講座の受講生が中心となり活動開始(H16～)
- ・区内 5 か所での相談会や講習会等を開催し、ICT の普及活動を行っている

- (2) ほどがや市民活動センター（アワーズ）において、Web 会議用の ICT 機器（パソコン、Wi-Fi 等）が利用できる環境の提供をモデル実施

### 2 対象

自治会町内会や商店街、民生委員児童委員などの各種委嘱委員 等

### 3 実施期間

令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月

### 4 その他

市民局「自治会町内会新しい活動スタイル応援事業」と補完し合いながら、より地域に寄り添ったきめ細かい支援を実施します。

## ほどがや元気づくり事業について

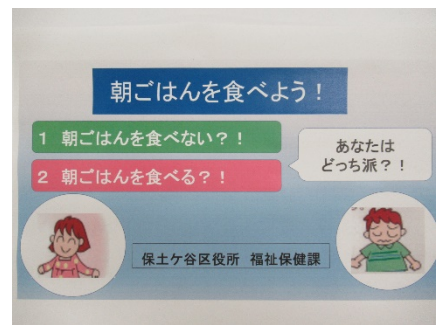
「第2期健康横浜 21」に基づき、自分自身で健康の維持・増進ができるよう、健康増進の基本である「食生活」「歯・口腔」などの分野の情報や、区民の皆様のニーズに合った健康情報を提供しています。さらに、関係団体等と協働しながら、健康情報を提供し、健康づくりのきっかけ作りに取り組んでいます。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行下で、新しい生活様式を取り入れた事業も展開します。

### 1 これまでの主な動き

#### (1) 食生活からのアプローチ

「朝食キャンペーン」として、朝食摂取の効果とバランスのよい朝食メニューについての啓発スライドを作成、区役所戸籍課モニターで放映（8月）



#### (2) 歯・口腔からのアプローチ

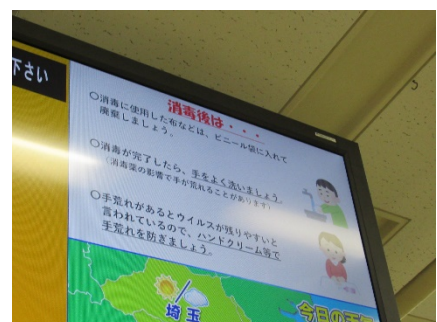
区内企業向け支援として、歯科に関する情報（リーフレット）を区内 20 事業者へ郵送、社内での情報共有を依頼。また、健康経営認証企業との協働で、リーフレットによる社内啓発を実施（8月）



#### (3) その他

広報よこはま区版や区ホームページで身近な健康づくりに関する情報提供を実施

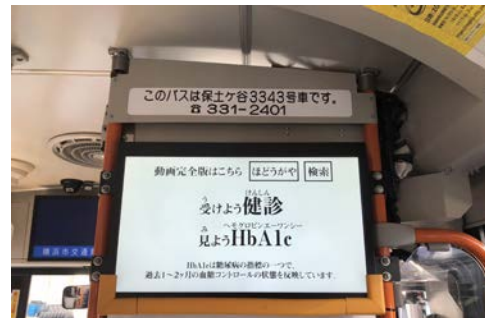
新たな感染症である新型コロナウイルス感染症対策の啓発として、予防策や消毒方法のスライドを作成、区ホームページ掲載や、区役所戸籍課モニターでの放映に加え、公衆浴場で放映、西谷郵便局での閲覧用資料配架（4月から8月まで）



## 2 今後の取組

### (1) 食生活からのアプローチ

- 1) バス広告を使った啓発（9月～11月）  
区内を走行する市営バスのモニターを使っての健康啓発を実施予定  
9月～11月は朝食摂取促進のためのスライドを放映



- 2) 時短レシピの作成、公開（12月）【拡充】

短時間で調理できるレシピを区ホームページ等で募集、バランスの取れたレシピを公開予定

### (2) 歯・口腔からのアプローチ

- 1) 企業向け歯科保健啓発（9月下旬）【新規】

区内企業の朝礼等を活用し、歯周病など歯科に関する講演および相談を、保土ヶ谷区歯科医師会の協力のもと、オンラインで実施予定

- 2) オンライン歯科相談（11月）【新規】

オンライン会議ができるアプリを活用した歯科相談を乳幼児の保護者向けに実施予定



### (3) 生活習慣改善や生活習慣病の重症化予防のためのアプローチ

- 1) 生活習慣が乱れやすい時期の学生に向けた健康啓発（10月）【拡充】

横浜国立大学映画研究部との協働により、昨年度制作した健康啓発動画や健康啓発媒体を掲載しているホームページへ誘導できるよう、大学生や専門学校生に向けて、二次元コードを入れたティッシュやチラシの配付を予定

- 2) ごみ収集車での放送を活用した健康情報の発信（12月）【新規】

糖尿病など生活習慣病により新型コロナウイルス感染症が重症化すると言われており、自分自身の健康について関心が高まっている機会を捉え、健診の受診勧奨、生活習慣改善への意識の向上と健康情報収集方法を放送予定